

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和2年11月4日
住 所 埼玉県春日部市粕壁5919番地2
県内企業等の名称 特定非営利活動法人春日部鉄道写真館
代 表 者 氏 名 代表理事 大塚 真

特定非営利活動法人春日部鉄道写真館 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

本法人は、定款第3条(目的)に規定している「交通機関の動静に対して遍く取材・撮影・編集・情報発信を誠実かつ丁寧に行い、交通機関に係わるジャーナリズム全体の倫理の向上および健全なる発展を図ると共に、鉄道交通に係わる正しい知識の普及および交流などの人的ネットワーク促進による、心の温かい良識ある鉄道人の創出」を常に忘れず行動し、事業活動を通じて地域社会の発展・振興に貢献すると共に、昨今問題となっている「一部愛好者による迷惑行為」を少しでも減らし、善良なる愛好者を一人でも多く創出することにより、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	取材活動において、環境負荷の低い「公共交通機関・現地付近でのレンタカー利用」「資機材の計画的な事前配送等」に努め、環境負荷の高い「自家用車のみ使用」の抑制を目指す。 <2019年の数値(2020年の数値はなし)> 当該年の取材活動全68件中、自家用車のみ使用によるものが53件(約78%)であった。	<2030年に向けた指標> 年間取材活動全件数中 自家用車のみ使用が30%以下 <取組開始3年後に向けた指標> 年間取材活動全件数中 自家用車のみ使用が60%以下
社会	構成員参加型の社会貢献活動として、交通機関沿線地域の環境保全活動を推進していく。 <2020年の数値> 法人設立当初年ならびに感染症禍の影響で、ほとんど事業活動が行えていないため、宣言日時点での活動回数は0回・活動人数は0人となります。	<2030年に向けた指標> 沿線地域の環境保全活動 12回/年・のべ約90名 <取組開始3年後に向けた指標> 沿線地域の環境保全活動 6回/年・のべ約45名
経済	構成員それぞれが十分に活躍することの出来る、多様な活躍方法を推進していく。 <2020年の数値> 全構成員に占める女性の割合 13.3% (全構成員15名中2名が女性)	<2030年に向けた指標> 全構成員に占める女性の割合 50%以上 <取組開始3年後に向けた指標> 全構成員に占める女性の割合 25%以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。